



第四十四回

秋田県消防操法大会

第四十四回秋田県消防操法大会は、台風九号の接近に伴うフェーン現象で県内の最高気温が三四・六度までに上昇した平成十九年九月六日(木)に、由利本荘市の秋田県消防学校で行われ、県内九支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部九分団、ポンプ車操法の部七分団が出場、この大会を目指しての一年間の厳しい練習の成果が発揮されたレベルの高い戦いが展開された。

審査の結果、
 小型ポンプ操法の部の優勝は、仙北市田沢湖消防団第六分団に。
 ポンプ車操法の部の優勝は、大潟村消防団第三分団に決定。
 総合優勝は、小型ポンプ操法で四位、ポンプ車操法で二位と二種目で安定した力を発揮した能代市山本郡支部が獲得した。

また、来る十月二十五日に横浜市において開催される第十八回全国女性消防操法大会に秋田県代表として出場する大館市女性消防隊による軽可搬ポンプ操法が披露され、全国大会に向けて会場から盛んな激励を受けた。



小型ポンプ操法の部 優勝 仙北市田沢湖消防団第6分団



ポンプ車操法の部 優勝 大潟村消防団第3分団



総合優勝 能代市山本郡支部

題 字
 初代会長 松野 盛吉
 定 価 1部 5円
 (購読料は年会費を含む)
 発行人
 〒010-0951
 秋田市山王四丁目1番2号
 秋田地方総合庁舎内
 秋田県消防協会
 会長 中泉 松之助
 電話 018-867-7320
 FAX 018-863-5910
 E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
 〒010-0951
 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760

小型ポンプ操法の部優勝……仙北市田沢湖消防団第六分団
 ポンプ車操法の部優勝……大潟村消防団第三分団
 総合優勝……能代市山本郡支部

平成十九年度全国統一防火標語
 『火は見てる あなたが離れる その時を』



秋田県消防学校初任教育 第六十一期修了式

平成十九年度に消防職員として採用された者を対象とした初任教育の第六十一期生五十七名の修了式が、平成十九年九月二十一日午後二時から秋田県消防学校において、来賓、学生の家族等多数の参列の下で行われた。

修了式は、進藤学校長から修了生一人ひとりに修了証書が授与されたあと、成績優秀者に対する表彰が行われ、優秀賞二名、努力賞五名、功労賞四名にそれぞれ表彰状が授与された。

進藤学校長の式辞のあと、秋田県知事代理の山王丸由利地域振興局長が、「近年、地域の消防力が弱まってきており心配される。反面、消防に対する期待は広域化、国民保護計画など新たな局面での対応などで益々重要となっている。皆さんは一日も早く職場に慣れ、県民の消防に対する負担に慮ってほしい。」と知事メッセージを代読。お祝いのあいさつは、中泉秋田県消防協会会長、石川秋田県消防長会会長が行った。

答辞は、修了生総代として由利本荘市消防本部の齋藤賢太郎さんが、「日々精進を重ね、秋田県消防の発展に努力する」と力強く述べた。

記念撮影のあと、五十七名全員が凛々しい消防人の顔つきとなって学び親しんだ消防学校をあとにした。修了生は、ただちに全県の所属する消防本部へ戻り、消防の第一線の業務に就くこととなる。

表彰者は次のとおりである。

優秀賞 大館市消防本部 杉田 淳吾
由利本荘市消防本部 嶋山 侑

努力賞 大館市消防本部 佐藤 賢一
大館市消防本部 山内 伸悟
由利本荘市消防本部 高原 稔幸
五城目町消防本部 猿田 陽一
能代山本広域市町村圏組合消防本部

功労章 秋田市消防本部 鈴木 元泰
由利本荘市消防本部 齋藤賢太郎
横手市消防本部 平藤 洋祐
能代山本広域市町村圏組合消防本部

櫻田 祐造

第六十回秋田県消防大会

平成十八年度能代市山本郡 中学校防火弁論大会 最優秀賞の弁論より



能代商業高校 一年 伊勢 春香

「防火は温かなひと声から」

「頑張ってるなあ。」声をかけてくれたのは父。受験生の私が勉強していると一声かけてくれます。父は「がんばれ。」とか、「もっと勉強しろ。」とは言いません。いつも、「頑張ってるなあ。」なのです。私がいちばん頑張っているなあ。父の声を聞くと、父の声は不思議です。穏やかな声で自然に心にしみてきます。朝「よく眠れたか。」出かけるときは「今日は寒いから、あったがくしていけよ。」

実は普段父とは、そんなに話をすることはありません。しかし、今日、火事の話をして聞かされたことがあります。火事と聞いても全然びんこないのです。その恐ろしさも全く分かりませんでした。父はボランティアで消防団員として活動しています。いくつもの火事の現場を目にしてきた父は火事の様子を、今見てきたかのように語りました。火の熱さ、火の勢い、煙の恐さ、逃げ遅れた人の悲鳴、助けようとする人の叫び声、どれも、ぞっとする様子です。

そして、最後に父は自分の火事の体験を話してくれました。それは、父が幼い頃住んでいた峰浜村の大火の話でした。わずかだった火は、あつという間に大きくなり、一軒一軒を飲み込んでいったのだそうです。自分の家が焼けてゆく恐怖に全身がたがたふるえたそう。むなしく、悔しく、残念な気持ち。焼けていく家を残しながら逃げることしかできなかった父。「はじめだったあ。」と父は言います。その体験に、私は声も出ませんでした。本当に初めて知ったのです。その日、私はなかなか眠れませんでした。そして、いつもの静かで

優しい声を出しました。「ストーブの近くに、物置ぐなよ。」その言葉の重さをその時ずっしりと感じました。

最近、ニュースでは放火の事件がよく報道されます。何と、現在の火事の一つの原因は放火なのだそう。私たちが年齢の違う子供供たちの放火も耳にします。放火するまで追いつめられた子供供の気持ちを思うとすごく複雑です。放火は心の問題だと思えます。その子に誰か声をかけてやることはできなかったのですか？私も受験生。悩みなんで山ほどあります。頑張れない自分のふがいなさに泣きたくなることもあります。でも、必ず誰かが私に声をかけて元気づけてくれました。私は言葉は大切だなあと、近頃思っています。父のいつもの声かけも、火事を語ってくれた言葉も、級友のさりげない励まし言葉も。

父はよく近所の人にも声をかけています。「おはようさん。」「苦勞さん。」「寒くなつたねえ。」本当に誰にでもよく声をかけているのです。都会では隣にどんな人が住んでいるのかさえ知らないことも珍しくないそうです。

最近では、田舎でも近所づきあいはなくなってきたと聞きます。しかし、こんな時代だからこそ声を出し声を掛け合ってお互いを支えていく必要があるのではないのでしょうか？言葉なんて取るに足らないものと考え人もいるかも知れません。言葉より行動という人がいても不思議ではありません。しかし、人間は想像以上にもいろいろです。たった一言で救われることのもので多いことでしょう。

そして、「勉強しろ。」「もっと頑張れ。」と言われるより「がんばってるなあ。」という言葉でやる気が出るように「火は怖い。」「火を出すな。」「火事に気を付けろ。」と言われるよりも何かと自分からそうしようと思ふ言葉があるのではないかと思います。そしてそれは相手を思いやってかけてやる言葉なのではないでしょうか？心がほつとすれば人は前向きになれるのです。心がすさめば人は何もかもいい加減になってしまふと思えます。人を動かすものは人の言葉。人を支えるのも人の言葉。一声かけてみませんか？心があつたかくなる一言。防火の始まりはそこからです。

平成十九年度秋田県消防学校初任第六十一期生五十七名の学校長査閲が、平成十九年九月十四日(金)午後一時から同校で行われた。

初任教育第六十一期生学校長査閲

これは、消防学校が初任教育生の教育訓練終了に当たり、約六ヶ月にわたる教育訓練の到達度を学校として評価するため、学校長をはじめとする教官、父兄、来賓の前で実施しているものである。

小隊編成等の訓練礼式に始まり、ポンプ操法、油による火災を想定した油火災消防訓練、階上からタンカを梯子に結び倒して救出する梯子水平救出第一法訓練、交通事故によって車から出られなくなった者を救出する交通事故車外救出訓練、梯子車を伸ばして高い建物から降下するリペリング降下訓練等を実施した。

総合訓練では、ビル火災の発生により、逃げ遅れた者の救出に消防車、救急車、指令車が出動、現地本部が設置され、本部指令による放水、火災救急救助が行われた。終わりに、「第六十一期生は、訓練種目の基礎的なものをマスターし、より高い応用部分にも対応できる力をつけている。今後は、それぞれが各現場においてより自己研鑽に努め、地域住民の期待に応えられるよう一層の活躍を期待する。」との学校長の講評があった。



梯子水平救出第一法訓練



小隊訓練



リペリング降下訓練



油火災消火訓練



交通事故車外救出訓練

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

森田ポンプ | ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 | 消防被服一式
各種消火器 | 消防機器一式

株式会社 **協立**
株式会社 **能代消防センター**

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

第二十六回 全国消防殉職者慰霊祭

九月十三日 東京都日本消防会館 於



第二十六回全国消防殉職者慰霊祭は、平成十九年九月十三日(木)東京都虎の門の日本消防会館ニッショールにおいて挙行された。全国の殉職者は、新台祀者九名を加え、総数で五千三百八十六名を数え、うち本県では、四十四名の方が殉職されている。

慰霊祭は、日本消防協会旗が入場、高木副会長の開会のことばに始まり、御霊の奉納、殉職者への黙とうのあと、片山日本消防協会会長が、「毎年、消防殉職者が発生し、深い悲しみを覚えるとともに、ご遺族の胸中はいかばかりかと察する。今後、消防団員の安全指導や消防装備等の充実強化により公務災害の発生を少なくする努力をしていく。本日の慰霊祭を機に安心・安全で住みよい社会実現のため精進邁進する。」と式辞。

追悼のことばは、内閣総理大臣安倍晋三代理総務副大臣魚住裕一郎氏、消防庁長官荒木慶司氏、全国消防長会会長佐々木輝幸氏からあった。

献花は、協会役員、来賓、全国の遺族代表に続き、各県の遺族代表等から行われた。さらに、昭和五十一年の第一回慰霊祭から毎年伝統的に鎮魂の歌として「木やり」が社団法人江戸消防記念会の五名の皆さんから捧げられた。

慰霊祭は、本年新たに合祀された遺族代表の長崎県の谷口智加恵さんからの謝辞、加田副会長の閉会のことばで閉じた。本県からの遺族として、横手市の福田俊

雄さん、大仙市の佐々木リツ子さんと村山節子さんが、また秋田県消防協会を代表して畠山副会長が参列して、全国の多くの遺族、関係者とともに殉職者の御霊に追悼の誠を捧げた。



秋田県参列者

今夏の集中豪雨について

「ラニーニャ現象、聞き慣れない言葉である。この現象の時、梅雨は多雨のことが多いが、今年は梅雨入り後は本県も雨が少なかった。しかし、停滞した前線の影響により集中豪雨が起きやすいのは梅雨の終盤で油断は禁物である。」
これは、七月一日付の秋田魁新聞での記事である。

○ そうしている間に、本県は八月二十日に県南部で集中豪雨に見舞われ、由利本荘市を中心に住宅の床上・床下浸水、川の護岸崩壊により、百二十九世帯に避難指示が出された。

○ 九月七日には、台風九号が県内を縦断し、内陸部に大雨をもたらし、県内主要道路での土砂崩れによる通行止めが次々と発生、また強風で屋根がはがれるなどの被害が出た。

○ さらに、追い打ちをかけるように、九月十七日には、停滞した秋雨前線に台風十二号からの湿った空気が入り込んだ影響で全県にわたって記録的な豪雨となり、県は同日二十四年ぶりに災害対策本部を設置した。

災害は、河川の氾濫などにより九市

町村一二、六四五世帯に避難勧告・避難指示が出されたほか、自主避難のところも発生し、三万三千六百三十五人が避難。

十八日には雨は峠をこえたが、県北部で死亡一名、行方不明一名が発生したほか、住宅の破損・建物の床上・床下浸水は十月五日現在二、二九〇棟にのぼった。また、十七日午前三時から二十四時間降水量は県内十観測地点で過去最高を更新した。

県は、住宅の浸水などの深刻な被害を受けた北秋田市、能代市に対し、昭和五十八年の日本海中部地震以来、二十四年ぶりに災害救助法の適用を決めた。また、国は北秋田市に本県に初めて被害者生活再建支援法の適用を決めた。

災害は去ったが、農地の冠水・浸水などで農林水産被害は、六十一億円、公共土木施設被害は、四百六十六箇所、六十億円に達した。

くしくも今年、昭和二十二年に発生した戦後最大といわれる雄物川大水害から六十年の節目にあたる。被災者の皆様には心からお見舞い申し上げたい。

近年は、短時間に予想を超える雨が局地的に降る特徴がある。河川及び流域の保水・排水能力と雨量の関係を分析して対策を講じないとまた同じような災害が発生しかねないのを危惧する。

それにしても消防関係者の皆さんが、今回のように頻発する災害の度毎に出動されて自らの役割を十二分に果たしておられることには頭が下がる思いである。

それぞれの地域での地道な活動が県民の安心・安全を確保していることを改めて強く思う。(事務局 菅野)

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町TEL(0183)(73)2588